

■ 観測システムの仕様

大項目	中項目	仕様 / 性能
センサー部	伝導度	4電極方式, $1 \mu\text{S/cm} \sim 50,000 \mu\text{S/cm}$ (分解能: $1 \mu\text{S/cm}$)
	水温	白金抵抗体, $-5^\circ\text{C} \sim +45^\circ\text{C}$ (分解能: 0.01°C)
	形状	外径 $\phi 26\text{mm}$, 長さ 150mm (ch)
	センサー間隔	1m (センサー部分の全長: 20m)
	ケーブル	200m/孔 (アナログ伝送方式)
データ送信部	観測ch	最大 20ch/1送信部
	通信	対センサー : アナログ 対信号制御部 : RS-422
信号制御部	最大入力	6孔 \times 20ch = 120ch (max)
	通信	対データ送信部 : RS-422 対データ収録部 : RS-232C
データ収録部	形式	パソコン [WindowsNT]
	ネットワーク	イーサネット
	観測間隔	1~600秒 (1秒ステップで任意)
その他の特徴	使用深度	最大200m

多層・多孔電気伝導度観測システム



センサー部とデータ送信部



データ収録部と信号制御部



本技術に関する詳しい技術資料を用意しております。下記の事業所、あるいは当社のホームページ <http://www.kge.co.jp> までご請求下さるようお願いいたします。

 川崎地質株式会社

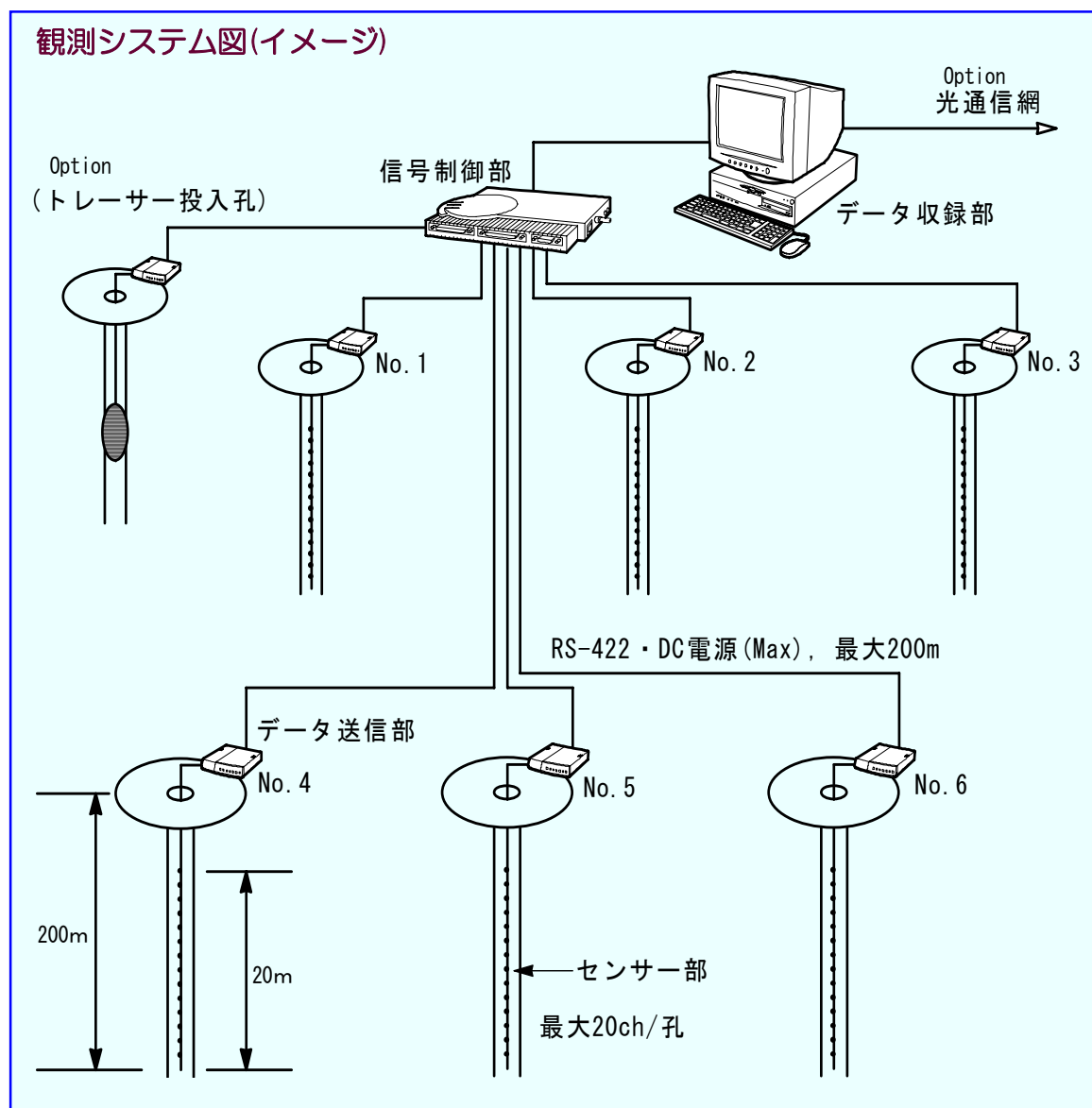
〒108-8337 東京都港区三田 2-11-15 (三田川崎ビル) 技術本部
TEL.03-5445-2077, FAX.03-5445-2093
URL : <http://www.kge.co.jp> Mail : kgetec@kge.co.jp

皆様の担当事業所

 川崎地質株式会社

■ 計測システム

多層多孔電気伝導度計測システムは、6ヶ所の調査ボーリング孔に各孔とも20成分のセンサーを設置し、いずれも静止したまま自動的に観測することができます。

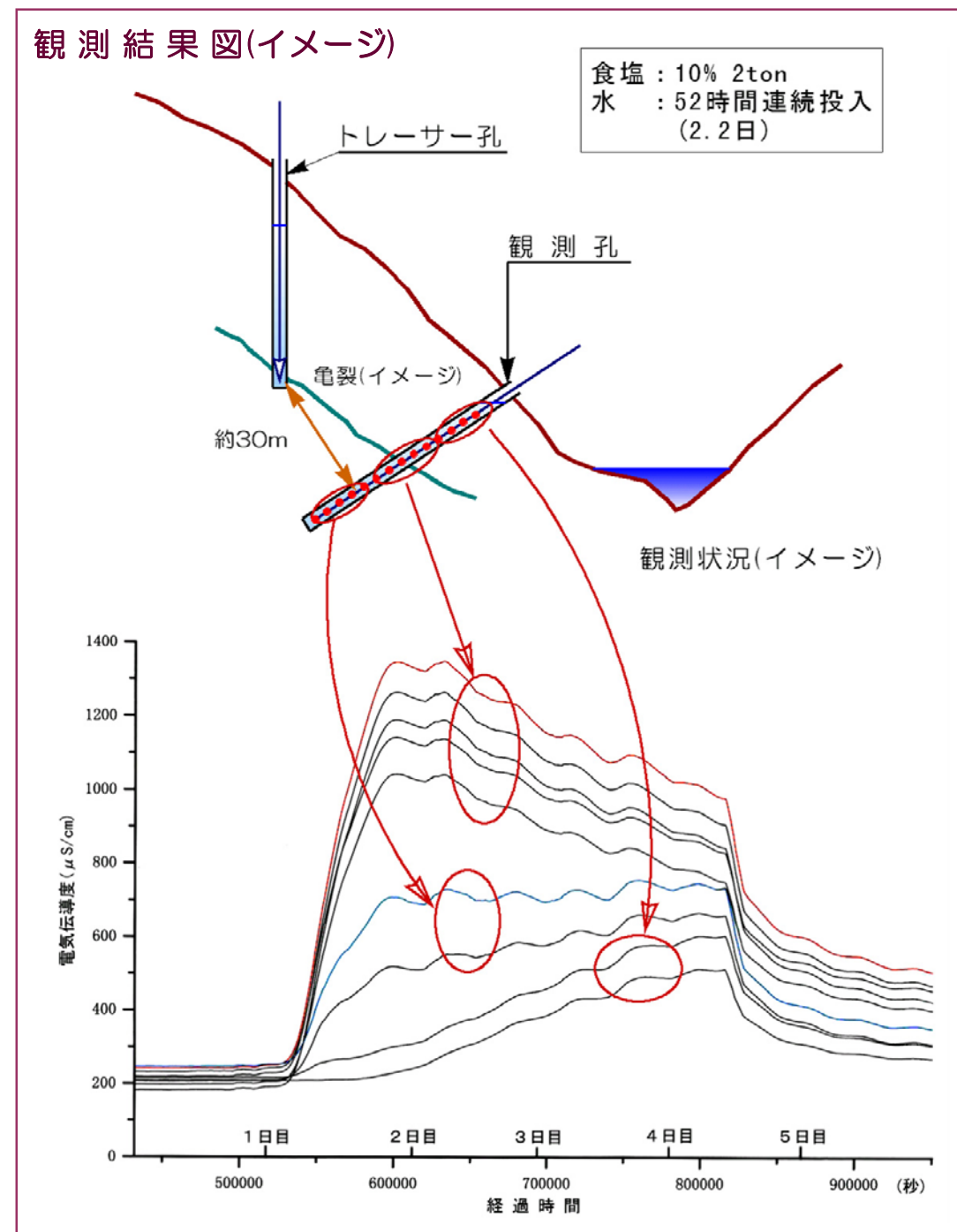


■ 主な用途と特徴

- 地下水モニタリング
 - ・対象地の地下水(孔内水)の電気伝導度と水温のモニタリングに最適です。
 - ・特に、廃棄物などの貯蔵物の漏れや地下水移動の確認に有効です。
 - ・水温の時間変化や深度変化からは、湧水箇所を特定することが容易になる可能性があります。
- 塩水投入による透水係数の算出
 - ・同時に6ヶ所のボーリング孔で計測することが可能なので、地下水が流動する方向を把握することが容易になりました。
- 温度補正
 - ・全ての伝導度センサーには、白金抵抗体温度計が設置されているので、精度の高い温度補正が可能です。

■ 計測システム

多層多孔電気伝導度計測システムは、「岩盤」や「廃棄物処分場周辺地盤」などの地下水の挙動を判定するために、極めて有効な情報を提供します。



■ 主な経歴

- 平成12年度西諸農業水利事業浜ノ瀬ダム地下水追跡調査業務
農林水産省九州農政局 西諸農業水利事業建設所 平成12年9月
- 平成15年度億首ダム幸地川地下水調査検討業務
内閣府沖縄総合事務局 北部ダム事務所 平成16年3月